

2 各部署等のFD活動

令和5年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 先導学類

参考資料：「令和4年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和5年度に向けた改善計画		
自己評価	令和4年度の自己評価	総評
令和4年度FD活動の自己評価及び総評	3	<p>融合学域FD研修会を7回実施し、教育方法改善等について意見交換を行った。教務・学生生活委員会委員が、シラバス点検及び改善指導を行い、融合学域全科目のルーブリック記載を必須とし、シラバス内容の充実・評価基準の明確化に取り組んだ。令和5年度以降開講のプロジェクト演習科目、鍛練科目、確立科目及び海外派遣プログラムの実施方針等について、教務・学生生活委員会及び海外留学・受入WGで継続的に審議し、教育研究会議に中間報告等を行い、融合研究域全教員から意見を集約し、検討を進めた。教育研究会議に引き続き、融合研究域教員6名が研究シーズ紹介を行い、教員の相互理解を深めた。今後も学年進行とともに授業内容をふり返り、改善を続けていく必要がある。</p> <p>令和5年度に向けた改善計画</p>
授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		<p>令和4年度に引き続き、FD研修会、教員の研究シーズ紹介等を実施し、教育方法の改善、融合研究の推進に努める。令和5年度から融合学域3学類体制となるため、相互の連携を図り、融合学域としての教育組織体制を整備していく。</p>

【令和4年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

以下、令和5年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input checked="" type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和5年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
第8回融合学域FD研修会	令和5年4月27日	学生の要望等について	融合学域長、先導学類長、観光デザイン学類長、スマート創成科学類長、教務・学生生活委員長 ほか16名	融合学域で実施	
第9回融合学域FD研修会	令和5年6月22日	MATLABを活用した講義について	先導学類長、観光デザイン学類長、スマート創成科学類長、教務・学生生活委員長 ほか14名	融合学域で実施	
第10回融合学域FD研修会	令和5年7月27日	DS. INSIGHT (ビックデータ分析ツール)の説明	融合学域長、先導学類長、スマート創成科学類長、教務・学生生活委員長 ほか15名	融合学域で実施	
第11回融合学域FD研修会	令和5年8月24日	融合研究・融合演習・融合試験について	先導学類長、観光デザイン学類長、スマート創成科学類長、教務・学生生活委員長 ほか21名	融合学域で実施	
第12回融合学域FD研修会	令和5年9月28日	教育方法改善	融合学域長、先導学類長、スマート創成科学類長、教務・学生生活委員長 ほか17名	融合学域で実施	
第13回融合学域FD研修会	令和5年10月26日	教育DX化に向けたMATLABの活用	融合学域長、先導学類長、スマート創成科学類長、教務・学生生活委員長 ほか8名	融合学域で実施	
第14回融合学域FD研修会	令和5年11月30日	海外WGからの海外留学実施報告など	先導学類長、観光デザイン学類長、教務・学生生活委員長 ほか20名	融合学域で実施	
第15回融合学域FD研修会	令和6年1月25日	カリキュラムについての自由討論	先導学類長、観光デザイン学類長、スマート創成科学類長、教務・学生生活委員長 ほか14名	融合学域で実施	

第16回融合学域FD研修会	令和6年2月22日	基礎科目・データサイエンス	融合学域長, 先導学類長, スマート創成科学類長, 教務・学生生活委員長 ほか12名	融合学域で実施	
第17回融合学域FD研修会	令和6年3月28日	能登震災に対する教育研究などについての自由討論	先導学類長, 観光デザイン学類長, スマート創成科学類長, 教務・学生生活委員長 ほか9名	融合学域で実施	
知識集約に係るFD研修会	令和5年5月11日	金沢大学知識集約型社会を支える人材育成事業 (KU-DP) における取組概要説明	融合学域長, 先導学類長, 観光デザイン学類長, スマート創成科学類長, 教務・学生生活委員長 ほか33名	融合学域で実施	
研究シーズ紹介	令和5年9月14日	融合研究域教員の研究紹介	融合学域長, 先導学類長, 観光デザイン学類長, スマート創成科学類長, 教務・学生生活委員長 ほか28名	融合学域で実施	
研究シーズ紹介	令和5年10月12日	融合研究域教員の研究紹介	融合学域長, 先導学類長, 観光デザイン学類長, スマート創成科学類長, 教務・学生生活委員長 ほか26名	融合学域で実施	
研究シーズ紹介	令和5年11月9日	融合研究域教員の研究紹介	融合学域長, 先導学類長, 観光デザイン学類長, スマート創成科学類長, 教務・学生生活委員長 ほか27名	融合学域で実施	
ハラスメント防止研修	令和5年7月13日	ハラスメント防止研修	融合学域長, 先導学類長, 観光デザイン学類長, スマート創成科学類長, 教務・学生生活委員長 ほか27名	融合学域で実施	

○照会事項5 令和5年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和5年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和5年度の自己評価	総評
3	<p>融合学域3学類合同でFD活動に取り組み、主な活動等は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・融合学域FD研修会を10回実施し、教育方法改善等について意見交換を行った。 ・教務・学生生活委員会委員が、シラバス点検及び改善指導を行い、シラバス内容の充実・評価基準の明確化に取り組んだ。 ・教務・学生生活委員会及び融合学域FD研修会で、授業評価アンケートデータ及び授業公開について協議、意見交換し、授業評価アンケートデータをアカンサスポータルLMSに置き、融合学域教職員限定で閲覧できることとした。また授業公開について、すべての教員の授業を公開することとした。 ・学年進行に合わせ、確立科目の実施方針等について、確立科目WGで継続的に審議した。 ・教育研究会議開催に合わせ融合研究域教員3名が研究シーズ紹介を行い、教員の相互理解を深めた。 <p>今後も学年進行とともに授業内容、方法を振り返り、改善を続けていく。</p>

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

令和5年度に引き続き、FD研修会、教員の研究シーズ紹介等を実施し、教育方法の改善、融合研究の推進に努める。融合学域3学類学年進行に合わせ、相互の連携を図り、融合学域としての教育組織体制を整備していく。先導学類は、令和6年度が完成年度となることから、教育方法・教育課程の検証を行い、教育課程の改正等について検討する。先導学類一期生が卒業となることから、令和6年度末に卒業生アンケートを実施する。

参考資料：「令和4年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和5年度に向けた改善計画		
自己評価	令和4年度の自己評価	総評
令和4年度FD活動の自己評価及び総評	3	融合学域FD研修会を7回実施し、教育方法改善等について意見交換を行った。 教務・学生生活委員会委員が、シラバス点検及び改善指導を行い、融合学域全科目のルーブリック記載を必須とし、シラバス内容の充実・評価基準の明確化に取り組んだ。 令和5年度以降開講のプロジェクト演習科目、鍛錬科目、確立科目及び海外派遣プログラムの実施方針等について、教務・学生生活委員会及び海外留学・受入WGで継続的に審議し、教育研究会議に中間報告等を行い、融合研究域全教員から意見を集約し、検討を進めた。 教育研究会議に引き続き、融合研究域教員6名が研究シーズ紹介を行い、教員の相互理解を深めた。 今後も学年進行とともに授業内容をふり返り、改善を続けていく必要がある。
授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和5年度に向けた改善計画 令和4年度に引き続き、FD研修会、教員の研究シーズ紹介等を実施し、教育方法の改善、融合研究の推進に努める。 令和5年度から融合学域3学類体制となるため、相互の連携を図り、融合学域としての教育組織体制を整備していく。

【令和4年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

以下、令和5年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input checked="" type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和5年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数(概数)	備考	SGU
第8回融合学域FD研修会	令和5年4月27日	学生の要望等について	融合学域長、先導学類長、観光デザイン学類長、スマート創成科学類長、教務・学生生活委員長 ほか16名	融合学域で実施	
第9回融合学域FD研修会	令和5年6月22日	MATLABを活用した講義について	先導学類長、観光デザイン学類長、スマート創成科学類長、教務・学生生活委員長 ほか14名	融合学域で実施	
第10回融合学域FD研修会	令和5年7月27日	DS.INSIGHT(ビックデータ分析ツール)の説明	融合学域長、先導学類長、スマート創成科学類長、教務・学生生活委員長 ほか15名	融合学域で実施	
第11回融合学域FD研修会	令和5年8月24日	融合研究・融合演習・融合試験について	先導学類長、観光デザイン学類長、スマート創成科学類長、教務・学生生活委員長 ほか21名	融合学域で実施	
第12回融合学域FD研修会	令和5年9月28日	教育方法改善	融合学域長、先導学類長、スマート創成科学類長、教務・学生生活委員長 ほか17名	融合学域で実施	
第13回融合学域FD研修会	令和5年10月26日	教育DX化に向けたMATLABの活用	融合学域長、先導学類長、スマート創成科学類長、教務・学生生活委員長 ほか8名	融合学域で実施	
第14回融合学域FD研修会	令和5年11月30日	海外WGからの海外留学実施報告など	先導学類長、観光デザイン学類長、教務・学生生活委員長 ほか20名	融合学域で実施	

第15回融合学域FD研修会	令和6年1月25日	カリキュラムについての自由討論	先導学類長, 観光デザイン学類長, スマート創成科学類長, 教務・学生生活委員長 ほか14名	融合学域で実施
第16回融合学域FD研修会	令和6年2月22日	基礎科目・データサイエンス	融合学域長, 先導学類長, スマート創成科学類長, 教務・学生生活委員長 ほか12名	融合学域で実施
第17回融合学域FD研修会	令和6年3月28日	能登震災に対する教育研究などについての自由討論	先導学類長, 観光デザイン学類長, スマート創成科学類長, 教務・学生生活委員長 ほか9名	融合学域で実施
知識集約に係るFD研修会	令和5年5月11日	金沢大学知識集約型社会を支える人材育成事業(KU-DP)における取組概要説明	融合学域長, 先導学類長, 観光デザイン学類長, スマート創成科学類長, 教務・学生生活委員長 ほか33名	融合学域で実施
研究シーズ紹介	令和5年9月14日	融合研究域教員の研究紹介	融合学域長, 先導学類長, 観光デザイン学類長, スマート創成科学類長, 教務・学生生活委員長 ほか28名	融合学域で実施
研究シーズ紹介	令和5年10月12日	融合研究域教員の研究紹介	融合学域長, 先導学類長, 観光デザイン学類長, スマート創成科学類長, 教務・学生生活委員長 ほか26名	融合学域で実施
研究シーズ紹介	令和5年11月9日	融合研究域教員の研究紹介	融合学域長, 先導学類長, 観光デザイン学類長, スマート創成科学類長, 教務・学生生活委員長 ほか27名	融合学域で実施
ハラスメント防止研修	令和5年7月13日	ハラスメント防止研修	融合学域長, 先導学類長, 観光デザイン学類長, スマート創成科学類長, 教務・学生生活委員長 ほか27名	融合学域で実施
令和5年度第1回観光デザイン学類ワークショップ	令和5年7月28日	令和6年度開講科目, アドバイス教員等について	観光デザイン学類長 ほか18名	
令和5年度第2回観光デザイン学類ワークショップ	令和5年10月25日	令和6年度開講科目, 鍛練科目等について	観光デザイン学類長 ほか17名	
令和5年度第3回観光デザイン学類ワークショップ	令和6年2月16日	令和6年度開講科目, ボランティアに関する科目, 海外派遣公式プログラム等について	観光デザイン学類長 ほか16名	

○照会事項5 令和5年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和5年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和5年度の自己評価	総評
3	<p>融合学域3学類合同でFD活動に取り組み、主な活動等は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> 融合学域FD研修会を10回実施し、教育方法改善等について意見交換を行った。 教務・学生生活委員会委員が、シラバス点検及び改善指導を行い、シラバス内容の充実・評価基準の明確化に取り組んだ。 教務・学生生活委員会及び融合学域FD研修会で、授業評価アンケートデータ及び授業公開について協議、意見交換し、授業評価アンケートデータをアカンサスポータルLMSに置き、融合学域教職員限定で閲覧できることとした。また授業公開について、すべての教員の授業を公開することとした。 学年進行に合わせ、確立科目の実施方針等について、確立科目WGで継続的に審議した。 教育研究会議開催に合わせ融合研究域教員3名が研究シーズ紹介を行い、教員の相互理解を深めた。今後も学年進行とともに授業内容、方法を振り返り、改善を続けていく。

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

令和5年度に引き続き、FD研修会、教員の研究シーズ紹介等を実施し、教育方法の改善、融合研究の推進に努める。融合学域3学類学年進行に合わせ、相互の連携を図り、融合学域としての教育組織体制を整備していく。

令和5年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 スマート創成科学類

参考資料：「令和4年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和5年度に向けた改善計画		
自己評価	令和4年度の自己評価	総評
令和4年度FD活動の自己評価及び総評	—	—
授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和5年度に向けた改善計画
		—

【令和4年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和5年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input checked="" type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和5年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数(概数)	備考	SGU
第8回融合学域FD研修会	令和5年4月27日	学生の要望等について	融合学域長、先導学類長、観光デザイン学類長、スマート創成科学類長、教務・学生生活委員長 ほか16名	融合学域で実施	
第9回融合学域FD研修会	令和5年6月22日	MATLABを活用した講義について	先導学類長、観光デザイン学類長、スマート創成科学類長、教務・学生生活委員長 ほか14名	融合学域で実施	
第10回融合学域FD研修会	令和5年7月27日	DS.INSIGHT(ビックデータ分析ツール)の説明	融合学域長、先導学類長、スマート創成科学類長、教務・学生生活委員長 ほか15名	融合学域で実施	
第11回融合学域FD研修会	令和5年8月24日	融合研究・融合演習・融合試験について	先導学類長、観光デザイン学類長、スマート創成科学類長、教務・学生生活委員長 ほか21名	融合学域で実施	
第12回融合学域FD研修会	令和5年9月28日	教育方法改善	融合学域長、先導学類長、スマート創成科学類長、教務・学生生活委員長 ほか17名	融合学域で実施	
第13回融合学域FD研修会	令和5年10月26日	教育DX化に向けたMATLABの活用	融合学域長、先導学類長、スマート創成科学類長、教務・学生生活委員長 ほか8名	融合学域で実施	
第14回融合学域FD研修会	令和5年11月30日	海外WGからの海外留学実施報告など	先導学類長、観光デザイン学類長、教務・学生生活委員長 ほか20名	融合学域で実施	

第15回融合学域FD研修会	令和6年1月25日	カリキュラムについての自由討論	先導学類長, 観光デザイン学類長, スマート創成科学類長, 教務・学生生活委員長 ほか14名	融合学域で実施
第16回融合学域FD研修会	令和6年2月22日	基礎科目・データサイエンス	融合学域長, 先導学類長, スマート創成科学類長, 教務・学生生活委員長 ほか12名	融合学域で実施
第17回融合学域FD研修会	令和6年3月28日	能登震災に対する教育研究などについての自由討論	先導学類長, 観光デザイン学類長, スマート創成科学類長, 教務・学生生活委員長 ほか9名	融合学域で実施
知識集約に係るFD研修会	令和5年5月11日	金沢大学知識集約型社会を支える人材育成事業(KU-DP)における取組概要説明	融合学域長, 先導学類長, 観光デザイン学類長, スマート創成科学類長, 教務・学生生活委員長 ほか33名	融合学域で実施
研究シーズ紹介	令和5年9月14日	融合研究域教員の研究紹介	融合学域長, 先導学類長, 観光デザイン学類長, スマート創成科学類長, 教務・学生生活委員長 ほか28名	融合学域で実施
研究シーズ紹介	令和5年10月12日	融合研究域教員の研究紹介	融合学域長, 先導学類長, 観光デザイン学類長, スマート創成科学類長, 教務・学生生活委員長 ほか26名	融合学域で実施
研究シーズ紹介	令和5年11月9日	融合研究域教員の研究紹介	融合学域長, 先導学類長, 観光デザイン学類長, スマート創成科学類長, 教務・学生生活委員長 ほか27名	融合学域で実施
ハラスメント防止研修	令和5年7月13日	ハラスメント防止研修	融合学域長, 先導学類長, 観光デザイン学類長, スマート創成科学類長, 教務・学生生活委員長 ほか27名	融合学域で実施
スマート創成科学類ワークショップ	令和5年10月26日	令和6年度開講科目, アドバイス教員等について	スマート創成科学類長 ほか17名	
スマート創成科学類ワークショップ	令和6年1月25日	令和6年度開講科目, アドバイス教員等について	スマート創成科学類長 ほか17名	

○照会事項5 令和5年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和5年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和5年度の自己評価	総評
3	<p>融合学域3学類合同でFD活動に取り組み、主な活動等は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> 融合学域FD研修会を10回実施し、教育方法改善等について意見交換を行った。 教務・学生生活委員会委員が、シラバス点検及び改善指導を行い、シラバス内容の充実・評価基準の明確化に取り組んだ。 教務・学生生活委員会及び融合学域FD研修会で、授業評価アンケートデータ及び授業公開について協議、意見交換し、授業評価アンケートデータをアカンサスポータルLMSに置き、融合学域教職員限定で閲覧できることとした。また授業公開について、すべての教員の授業を公開することとした。 学年進行に合わせ、確立科目の実施方針等について、確立科目WGで継続的に審議した。 教育研究会議開催に合わせ融合研究域教員3名が研究シーズ紹介を行い、教員の相互理解を深めた。今後も学年進行とともに授業内容、方法を振り返り、改善を続けていく。

【令和5年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

令和5年度に引き続き、FD研修会、教員の研究シーズ紹介等を実施し、教育方法の改善、融合研究の推進に努める。融合学域3学類学年進行に合わせ、相互の連携を図り、融合学域としての教育組織体制を整備していく。

令和5年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 人文学類

参考資料:「令和4年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和5年度に向けた改善計画		
自己評価	令和4年度の自己評価	総評
令和4年度FD活動の自己評価及び総評	3	教員相互の授業参観, 授業評価アンケート結果の活用, 成績評価基準等の作成・検証, FD研修会については, 幾つかの不測の事態により, 当初計画よりもやや縮小した面もあったが, ほぼ着実に実施している。特に授業参観については, 対面型と遠隔型(双方向)との両方で実施した。また, FD研修会では, 英語レポート・ライティング指導法について一層の理解を深めることができた。
授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ, 令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について, 具体的に記載してください。		<p style="text-align: center;">令和5年度に向けた改善計画</p> 令和4年度の授業評価アンケート結果を見る限り, 本学類の教育は総じて学生から高く評価されていることが分かる。今年度は, 基本的にはこれまでの取り組みを踏襲しつつ, 学類のFD研修会や公開授業の実施などを通じて, 学類教員の教育能力向上を図ることにいっそう意を注ぐ予定である。これに加えて, 更に多くの学生が授業の満足度を高め, 達成感が得られるよう, 各方面からの意見や助言を得ながら委員会としても積極的に対応策を検討していきたいと考えている。

【令和4年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下, 令和5年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について, 令和5年度の実施状況を選択してください。なお, 一部のコース等で実施した場合は, 実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について, 該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を, 授業方法・カリキュラムの改善のために, どのように活用しましたか。なお, 一部のコース等で実施した場合は, 実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について, 該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input checked="" type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input checked="" type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input checked="" type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和5年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に關係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数(概数)	備考	SGU
人文学類FD研修会	5月10日	佐藤 文彦 教授 (GS教育系) 「異文化体験的COIL型授業の事例紹介」	高山学類長、 堀田系長、 上田専攻長、 FD委員ほか 約30名		

○照会事項5 令和5年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和5年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和5年度の自己評価	総評
3	教員相互の授業参観・授業評価、成績評価基準等の作成・検証、FD研修会等については、ほぼ当初計画通りに着実に実施することができた。授業参観については、対面型で実施した。また、FD研修会では、異文化体験的COIL型授業について一層の理解を深めることができた。

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

令和5年度の授業評価アンケート結果を見る限り、本学類の教育は総じて学生から高く評価されていることが分かる。今年度は、基本的にはこれまでの取り組みを踏襲し、学類のFD研修会や公開授業の実施などを通じて、学類教員の教育能力向上を図ることにいっそう意を注ぐ予定である。これに加えて、更に多くの学生が授業の満足度を高め、達成感が得られるよう、各方面からの意見や助言を得ながら委員会として積極的に対応策を検討していきたい。

令和5年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 法学類

参考資料:「令和4年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和5年度に向けた改善計画		
自己評価	令和4年度の自己評価	総評
令和4年度FD活動の自己評価及び総評	3	会議システムによるリモート授業のための注意点や可能性について、また、言語関係のカリキュラム改正をめぐる問題や、法務専攻との連携など多様なテーマについてのFD研修会を開催し、意見交換を行ったほか、リモート授業への自由な相互参観に関して申し合わせを行った。
授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和5年度に向けた改善計画 アンケートを見る限り、学生は概ね、現行のカリキュラムに満足していると思われるが、依然として学習時間が極端に少ない学生が見受けられるので、授業ごとに、具体的な課題を与えて、自宅での学習時間を増やすよう促すことにした。また、学生が現在、学んでいることが、社会における具体的な課題解決に繋がっていることを把握できるような実例を授業にできるだけ盛り込み、課題にも反映させるよう各教員に要請することにした。

【令和4年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和5年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input checked="" type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input checked="" type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input checked="" type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和5年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に關係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
法学類FD研修会	4月11日	個人面談の実施方法や工夫について意見交換	法学類長ほか21名		
法学類FD研修会	3月12日	EFLSの授業を担当している教員による報告と課題の共有	法学類長ほか20名		○
初学者科目担当者FD研修会	3月12日	アカデミックスキルなどの一年次教育に関する意見交換	初学者科目担当教員9名		

○照会事項5 令和5年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和5年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和5年度の自己評価	総評
3	各教員に対する各種の負担が増えるなか、学生に対するアドバイスをいかに効率的に行うか、数回にわたって学類会議で議論し、問題意識を共有してきた。連絡が取りにくい学生にどうアプローチするかについて、教員同士で機会あるごとに情報交換している。FD研修会では、法学・政治学を学ぶ学類生にとって有用な英語力の向上を目指して創設された、English for Legal Studiesで、実際担当している教員から学生の授業態度や、生の英会話、聴き取りにあまり慣れていない学生に、どのようにして興味を持ってもらうか議論し、問題意識を共有した。

【令和5年度の自己評価】 4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

--

令和5年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 経済学類

参考資料:「令和4年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和5年度に向けた改善計画		
自己評価	令和4年度の自己評価	総評
令和4年度FD活動の自己評価及び総評	4	2回のFD研修会のほかに、以下のFD活動を実施した。 ・経済学類ゼミナール大会 企画・運営 ・教員と学生懇談会 企画・運営 特に後者に関しては、学生のニーズなども聴取することでカリキュラム改訂への反映や、授業運営方法の見直しなどの議論に繋がっており、「4:大いに評価できる」とした。
授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和5年度に向けた改善計画 ここ数年、学域 GS 言語科目を中心とする教員ローテーション科目について、学生への効果や公平な負担感の点で授業運用や評価方法などの試行錯誤を行っている。この点で、学習方針や授業担当者ごとの運用の影響を FD 研修会などで洗い出し、改善に向けて検討していく。

【令和4年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和5年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(ローテーション科目での取り扱い内容について報告・共有した。)

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和5年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
イトーキ社長講演会	6月28日	イトーキ社長による今日の経営に求められる人材像、今後の大学教育のあり方の講演	学生120名 教員6名		
学域GS言語に関する研修会	8月3日	「学域GS言語」のシステム利用方法並びに実践報告	FD委員 ほか14名		

○照会事項5 令和5年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和5年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和5年度の自己評価	総評
4	2回のFD研修会のほかに、以下のFD活動を実施した。 ・経済学類ゼミナール大会 企画・運営 ・教員と学生懇談会 企画・運営 ゼミナール大会については、ゼミ運営のメルクマールとしての役割やプレゼンテーション能力の向上にも寄与して学生もその意義を認識していることから、「4:大いに評価できる」とした。

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

学域 GS 言語科目を中心とする教員ローテーション科目について、学生への効果の観点で授業運用や評価方法などを毎年見直すなど試行錯誤している。この点で、有意義な運用などを FD 研修会などで共有するとともに問題点を洗い出し、卒業要件であるTOEICスコア到達に向けて検討していく。

令和5年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 学校教育学類

参考資料:「令和4年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和5年度に向けた改善計画		
自己評価	令和4年度の自己評価	総評
令和4年度FD活動の自己評価及び総評	4	<p>令和4年度は、コロナウイルス感染拡大の影響から完全に脱することはなかったものの、多くの活動を通常の状態に戻して実施することができた。今年度は金沢大学と富山大学が共同教員養成課程をスタートさせる年となった。新たな課程の担当に向けてスムーズな移行ができるよう、学類FD研修会はその目的に特化したもの3回を含む計4回を実施した。内1回は富山大学の同課程担当教員2名にも参加を呼びかけ、新規に導入された遠隔授業システムで両大学を結んで行う初の研修会となった。両大学間で活発な議論が行われたことは大きな成果であった。全学類学生を対象とするアンケートもFD委員会の担当となり、5月と10月に計2回実施した。多くの学生の声を集めることで教育全体の質の向上へと繋げてゆく。研究授業の実施については実施予定時期にコロナウイルス感染拡大が重なる事態が想定されたことなどもあり、当初の計画を変更し、次年度に2回実施することとなった。そのような反省点があるものの、可能な活動をほぼ実施できたことから、「4:大いに評価できる」と自己評価する。</p>
<p>授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。</p>		<p>令和5年度に向けた改善計画</p> <p>「令和4年度授業評価アンケート」に関して、所属教員には学類会議等で調査実施に係る協力、また結果の確認とその後の活用に係る依頼を行った。令和4年度から、富山大学との共同教員養成課程を設置しており、授業科目が完成年度に向かうに従い増加するこれからの3年間は、より多くの関心を向けてもらえるように、委員会が結果の活用に向けて通知する機会をこれまで以上に増やす必要があると考えている。今年度の調査については、共同教員養成課程に所属する学生の回答率が他学類に比べて低いことが認められる。この新課程には1年次のみのものであるが、当調査の制度や回答方式にまだ不慣れであったことなど、やむを得ない事情があったことが考えられるが、これについては通知をさらに徹底すること、そして今後の年次進行により改善が期待できると考えている。また令和5年度のアンケート実施について、調査対象授業科目を担当する教員には、メールによる実施協力依頼がすでになされているが、学類会議などにおいても関心を継続的に喚起するようにするなどして今後の回答率が向上するように働き掛ける。</p> <p>学校教育学類は所属学生全員に対して、教職につくことについての意識調査を一年に二回実施している。この調査を通じて学生たちの教職に対する意識を教員が理解し、授業や日々の学生指導の質の向上に活用することが目的に含まれている。同調査では授業や学生生活における意見なども自由に記述してもらおうが、それらは個人情報に十分な配慮を施した後に教員に共有され、学生からの率直な声を得る重要な資料となっている。調査結果は教員の意識向上、また研修会のテーマの参考とされるなど、これまでも積極的に活用されてきている。また調査に協力してくれる学生にも、これを定期的に自らの将来への意思を確認する機会としてもらい、学修やその他の活動をより充実したものとする契機となるように指導していく。</p> <p>3月に卒業者のみを対象に行われたアンケートについては、高い回答率でより信頼性のある結果が得られたと考える。学修の達成度を問うそれぞれの項目について「十分に達成している」の数値と「ある程度達成している」をあわせると80%の解答を得られた。また、学類での学生生活に対する満足度については53%であった「十分に満足」の回答を「やや満足」の数値と合わせると90%以上となり、大きな問題の無い数値が得られているようにも考えられるが、「十分に満足」の数値がより高くなるよう、結果を学類会議で共有し、FD研修活動の指針作成の重要な参考資料とするなどし、適切な方策を実施する。</p>

【令和4年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和5年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(学類でFD研究授業を実施。参加者とともに授業討論会を行った。)

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和5年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に關係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数(概数)	備考	SGU
令和5年度第1回FD研修会	8月24日	「Society 5.0を豊かに生きる資質・能力の育成に向けた探究の学びの創造」	学類長を含み、学類からは約40名		
令和5年度第2回FD研修会(金沢大学・富山大学共同教員養成課程合同FD研修会)	9月28日	「遠隔システムやZoomを使った斉一授業実施の現状・課題・展望」	学類長・教学マネジメントセンターからの参加者を含む49名(富山大学と遠隔授業システムにより同時中継)		
令和5年度第3回FD研修会	2月8日	「教員養成課程の現在の動向—教員養成課程と学類将来構想にかかる視察報告」	学類長・教学マネジメントセンターからの参加者も含めて約35名		

○照会事項5 令和5年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和5年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和5年度の自己評価	総評
4	<p>令和5年度は、FD活動の多くを通常の状態に戻して実施することができた。今年度は金沢大学と富山大学が共同教員養成課程をスタートさせてから2年目となった。多くの専門的科目が開始され、それらのうち「斉一授業」で行われるものも多い。斉一授業の多くは両大学の教室を専用の回線で結び、いずれかの大学の担当教員が授業を同時に行う形になるが、年次進行によりその形式の授業が多くなった結果、いくつかの改善すべき課題も明らかになった。FD研修会や情報の共有を通してそれらの改善に向けての意識を強く持つよう働きかける試みが行われた。</p> <p>令和5年度の学校教育学類FD・カリキュラム委員会は、学類の教育力を向上させるためのFD研修会を計3回実施した。そのうち特筆すべきものは、令和5年9月28日金沢大学と富山大学を結んで実施した「第1回金沢大学・富山大学合同FD研修会(第2回金沢大学学校教育学類FD研修会)」の実施であった。これは、上述の「斉一授業」において同時開催授業を担当した両大学の教員がその経験を元に、授業にむけ準備すべきこと、進め方における注意点、実際に発生した困難やその解決に向けての工夫などを提起し、両大学からの質疑応答を行うものであった。昨年度は金沢大学開催の研修会を富山大学にも同時送信し、質疑応答には両大学の教員が参加し話し合いを行うことができたが、今年度は企画から実施のすべてを両大学の協力によって行うことができたことにおいて大変意義深い研修会となった。今回の研修会合同実施により、授業評価などの共通フォーマット化を進めるなど、この課程の授業を充実させるために両大学がこれからより一層緊密な関係を構築するための環境醸成が進んだ。</p> <p>また大学が行う「授業評価アンケート」に加えて、学校教育学類FD・カリキュラム委員会は学類全学生を対象として学類学生が将来教職に就く意志をどのように形成されていくかを継続的に調査する学類独自のアンケート(「教職に就く意志についての意識調査」)を5月と10月に計2回実施した。この調査は今後も継続し、できる限り多くの学生の声にきめ細やかに耳を傾け、学類教育全体の質の向上へと繋げてゆく。</p> <p>今年度2回実施する予定であった学類の研究授業だが、実施は一度となった。その研究授業は初めて富山大学共同教員養成課程との「斉一授業」を題材としたもので、この実施と授業討論会を通して授業の成果と課題を明らかにすることができた。予定されていたもうひとつの研究授業は能登半島地震の影響により次年度に延期せざるを得なかったが、すでに令和6年度の実施日程も決定され準備が進んでいる。</p> <p>以上、令和5年度のFD活動全体を通して考察すると、更なる取り組みが必要とされる点があるものの、富山大学との合同研修会や、斉一授業を題材とする研究授業の実施といった初めての取り組みを含み、可能な活動に積極的に取り組んだことから、「4:大いに評価できる」と自己評価する。</p>

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

<p>学校教育学類は所属学生全員に対して、「教職に就く意志についての意識調査」を令和5年度も二度実施した。この調査は学生たちの教職に対する現時点での意識や、変化を教員が理解し、通常の授業やその他の学生指導に活用することが目的として含まれる。同意識調査では授業や学生生活における意見などが寄せられるが、個人情報処理後に学類教員が共有する。これらは授業やその他の指導における改善点について、学生からの貴重な声を聞くための不可欠な資料となっている。学生たちがこの調査を将来への意思を確認する機会として利用していることから、学類の学生と教員がともに学修やその他の活動をより充実したものとしていくための重要な活動となっている。</p> <p>また、3月に実施された「卒業生アンケート」においては高い回答率が見られ、信頼性のある結果が得られたと考える。学修の達成度を問うそれぞれの項目について「十分に達成している」の数値と「ある程度達成している」をあわせるとほぼすべての項目で90%以上の達成度となった。学校教育学類での学びについて「満足・あるいはやや満足」と解答している学生が98%以上に達することは特筆すべきことと考える。</p> <p>「令和5年度授業評価アンケート」に関して、学類所属教員には学類会議等で調査実施への協力、また結果の確認とその後の活用に係る依頼と提言を行った。従来課程の学校教育学類、および新課程である共同教員養成課程の両方において回答率は最も高いものとなっている。授業内容の適切性、授業理解度、学修目標達成度、授業満足度のいずれについても高い数値を示しており、学類が提供する授業に対する学生からの高い評価はおおむね明らかだと思われる。授業時間外の学習時間について、従来の課程に所属する学生の勉強時間が多いものとなっている。このことは日々の課題に取り組むことを通じ、将来の目標に向い努力している様子が強く窺われる。だがその一方で、令和5年度においては1、2年次が所属する共同教員養成課程の学生については不十分な様子が見られる。各授業に個別に寄せられた学生の真摯な思いを受け止めて各教員が授業の一層の充実に向けて努力するのはもとより、学類教員間でこの全体の状況を共有し、より熟慮を重ねて学生指導にあたる必要がある。令和6年度にも実施される同アンケートについて、調査対象授業科目を担当する教員には学類会議等を通し実施協力依頼がすでになされているが、アンケート結果の一層の活用についても学類会議などにおいてFD・カリキュラム委員会が継続的に関心を喚起し、さまざまな提言を行う。</p>

令和5年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 地域創造学類

参考資料:「令和4年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和5年度に向けた改善計画		
自己評価	令和4年度の自己評価	総評
令和4年度FD活動の自己評価及び総評	4	教務・学生生活委員会と合同実施のシラバス点検、全教員参加の授業参観・授業評価、卒業生アンケート・授業評価アンケートの公表、成績評価分布の共有など、FD活動の主幹となる部分について滞りなく実施した。また、9月以降毎月1名の教員によるFD研修会(教育・研究実践報告)を実施し、教育研究の質の向上を図るとともに、研修会の動画を学生にも公開し学生の学びに役立てている。卒業生アンケートの回収率が低い点が課題であるが、大いに評価できるFD活動であったといえる。
授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		<p style="text-align: center;">令和5年度に向けた改善計画</p> 令和4年度の授業評価アンケートからは、予習・復習時間が少ないことが課題として挙げた。令和5年度からはシラバスに予習・復習のための教材や学修時間の記載を義務付けたので、この点について検証を行うとともに、アンケート結果を踏まえた教育方法の改善について検討を行う。

【令和4年度の自己評価】4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和5年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(学生からの評価は高く、従前どおり丁寧な教育を行うことを確認した。)

2-2 下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input checked="" type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(参観した教員から授業担当者へコメントを送付、授業担当者はそのコメントに対しさらにコメントを返すことで、授業改善につなげた。)

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和5年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数(概数)	備考	SGU
地域創造学類FD研修会	毎月第3木曜日 12:10~12:50	学類教員の教育・研究実践報告	当日参加者は地域創造学類長、FD委員長ほか、平均7名(専任教員の37%)	録画し、動画を学類教員および学生に公開	

○照会事項5 令和5年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和5年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和5年度の自己評価	総評
3	<p>全教員の授業公開および授業参観、卒業生アンケート・授業評価アンケートの公表、成績評価分布の共有などのFD活動について滞りなく実施した。シラバス点検については、昨年度、教務・学生生活委員会とFD委員会の合同で全教員分を対象に実施したため、今年度はFD委員長による抽出点検を行い、必要項目の記載はほぼ徹底されていることを確認した。昨年度来、毎月1名の教員によるFD研修会(教育・研究実践報告)を実施しており、教育研究内容の相互理解や教育研究の質の向上を図っている。この研修会の動画は学生にも公開し、専門分野への興味・関心の醸成に役立っている。一方、昨年度は卒業生アンケートの回収率が低いことが課題であったが、今年度はアンケート開始時期の前倒しや複数回の呼びかけにより回収率が格段に向上した(約30%→約60%)。授業評価アンケートの活用に工夫の余地があるが、概ね評価できるFD活動であったと言える。</p>

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

<p>今年度の卒業生アンケート(回収率約6割)の結果を分析したところ、学類のDPIに関する能力はほとんどの項目で「高められた」「まあ高められた」、また学類教育の満足度もほとんどの項目で「満足している」「やや満足している」との高い評価を得ていた。このことから、当学類の学生教育は概ね適切であると言える。今後も同様に丁寧に取り組んでいくことが望まれる。その一方で、授業評価アンケートについては活用しきれていない。令和5年度からシラバスに予習・復習のための教材や学修時間を記載したことを踏まえ、予習・復習時間の変化に伴う授業の理解度についての検証等を行う必要があると思われる。さらにその検証結果を踏まえ、教育方法の改善についても検討を行いたい。</p>

令和5年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 国際学類

参考資料:「令和4年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和5年度に向けた改善計画		
自己評価	令和4年度の自己評価	総評
令和4年度FD活動の自己評価及び総評	3	本学なかんずくその国際化を先導すべき役割を期待される国際学類のFD活動において、一ポスト・コロナ期における授業改善の一環として、Zoomやskype等を利用した遠隔技術の活用なかんずく、COIL型授業の設計導入が強く提唱されるところであるが、本学類では先駆的に中野涼子教員を中心にシンガポール国立大学とのCOIL型授業が実践され、良い成果を上げている。こうした成果をさらに敷衍させるため、COIL型授業の導入事例を主題に、人間社会学域との合同企画による第2回FD研修会が企画・実施され、来年度以降のCOIL型授業の更なる拡大の地盤固めができたと判断される。
授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和5年度に向けた改善計画
		こうした課題についても来年度のFD研修会等において随時話題に取り上げ、検討を加えていきたい。

【令和4年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和5年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input checked="" type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和5年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
2023年度国際学類第1回FD研修会	11月2日	FD活動の一環としての教員間授業参観について	古畑学類長石黒委員ほか14名	講師:地域創造学類FD委員長 寺沢なお子先生	
2023年度国際学類第2回FD研修会	3月27日	アカデミック・スキル及びプレゼン・ディベート論の授業方法について	古畑学類長ほか13名	授業担当者による実践報告	○

○照会事項5 令和5年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和5年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和5年度の自己評価	総評
3	本学類のFD活動に基づく授業の質向上は、卒業者の授業アンケートの結果(授業に対する満足度に関し文系学類においてトップ)等からみても、概して満足すべき水準にあると思われる。中野涼子教授の指導によるシンガポール国立大とのコイル授業の展開など、国際学類ならではの特色ある思考も次第に成熟しつつある。今後の課題としては学生への聞き取り調査等に基づく、従来認知されてこなかったような改善点の洗い出しがあげられるが、年度末に生じた担当者(石黒)の不慮の事故による療養のため、この課題に十分に取り組みなかったことが残念である。本年度の取り組み事項としたい。

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

令和5年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 数物科学類・数物科学専攻

参考資料:「令和4年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和5年度に向けた改善計画		
自己評価	令和4年度の自己評価	総評
令和4年度FD活動の自己評価及び総評	3	ほぼコロナ対応はなくなり対面授業の率が増えたとはいえ、Q4はオンライン授業を行わざるを得ない状況が頻発した。FDを通して、遠隔と対面に共用で利用できる教材および、自習用教材の開発が行われ、講義の質の改善が見られた。ALAの申請はなかったが制度の活用を進めていきたい。
授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和5年度に向けた改善計画 R3年度は卒業・修了者に対するアンケートの回答者数が揃わなかったが、R4年度はアンケート実施数を改善する予定であり、それに基づいて、結果の周知を行い、カリキュラムの改善につなげていきたい。

【令和4年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和5年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和5年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
実施なし					

○照会事項5 令和5年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和5年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和5年度の自己評価	総評
3	今年度もQ4を中心にオンライン授業を行わざるを得ない状況が頻発した。また、予習・復習の教材を準備することが要請され、遠隔教材を指定されることも多くなった。遠隔と対面および自習用に共用できる教材開発が行われ、教材の改善にFDが貢献したと考えられる。研修会は実施できなかったが、R6に談話会を行う予定。

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

R4年度はアンケート実施数を改善できたが、回答内容の質に問題がある。回答時間の確保や学生への協力依頼等を行うことで、より良いデータを用いてカリキュラムの改善につなげていく。
--

令和5年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 物質化学類・物質化学専攻

参考資料:「令和4年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和5年度に向けた改善計画		
自己評価	令和4年度の自己評価	総評
令和4年度FD活動の自己評価及び総評	3	今年度はこれまで実現できなかった教員相互による必修授業の参観を開催した。参観後に意見交換を行い、優れた点、問題点を共有するなど、状況に応じた教育方法改善に向けて議論した。また、月例会議において授業評価方法や改善策に関する話し合いを継続し、FD活動への意識の共有化や改善に取り組んだ。FD研修会を一部実施し、卒業者のアンケートと指導教員のアンケート結果から、授業の改善・教育効果の向上を図った。
授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和5年度に向けた改善計画 卒業論文をまとめる際のまとめの積極的努力や独自問題解決において、卒業者の意識が向上していたが、実践活動の有益性において高い水準でありつつも、若干の低下が見られたことから、研究計画の重要性及び、課題に対する理解度向上を上げること狙い、教員間でのディスカッションの場を研修会の中で設ける。

【令和4年度の自己評価】4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和5年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(教務委員と連携し評価基準の明確化、および適正な評価の付与を周知している。)

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和5年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数(概数)	備考	SGU
応用化学コース 第22回 FD研修会	10月10日	応用化学コースの教育活動における重要事項を認識し意見交換を通してコース内の教育改善に対する意識を深める。	20名		

○照会事項5 令和5年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和5年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和5年度の自己評価	総評
3	物質化学類ではFD研修会において、教員による自身の授業への取組みの紹介を継続的に行っている。講義形態に対し意見交換の機会を積極的に作ることで、状況に応じた教育方法改善に向けて十分な努力を行うことができた。月例会議でも授業評価方法や改善策に関する話し合いを継続し、FD活動への意識の共有化や改善に取り組んだ。

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

昨年度よりも教員と学生間の自己評価が向上した。一方、「課題・背景の説明」や「課題遂行への助言」で減少していた。学生回答と見比べると、実験活動の指導に注力した結果と考えられる。実験指導中の課題の1つになると予想される。発表指導などは過去最高であり、効果的な指導につながった。これらの結果を踏まえ、ディスカッション時間の定期的な確保を通じたさらに効果的な指導方法を組むこととした。

令和5年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 機械工学類・機械科学専攻

参考資料:「令和4年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和5年度に向けた改善計画		
自己評価	令和4年度の自己評価	総評
令和4年度FD活動の自己評価及び総評	3	昨年度の授業評価アンケートの集計結果及びその分析結果を教員間で共有した。また、新方式の授業評価アンケートの問題点について、学類会議で意見を募り、FD委員会へ報告した。さらに、留学生の受け入れに伴う諸問題の事例とその対策に関して理工3学類合同FD研修会を開催し、教員の問題対処能力の向上を図った。この研修会に先立って、留学生受け入れに伴う諸問題に関するアンケートを理工3学類の教員に対して実施した。
授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和5年度に向けた改善計画 授業評価アンケートのマイナスの評価内容について、機械工学類の教員間で共有し、今後のアンケートでマイナスの評価がつかないように各教員へ授業の改善を働きかける。

【令和4年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和5年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(1名の教員が夢ナビの講義を公開した)

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input checked="" type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和5年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に關係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数(概数)	備考	SGU
理工3学類合同FD研修会	3月21日	MATLAB及び教育活動のためのソフトウェアツールの紹介	機械工学類長、FD委員ほか48名	フロンティア工学類、電子情報通信学類と合同開催	

○照会事項5 令和5年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和5年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和5年度の自己評価	総評
3	昨年度の授業アンケートや卒業生・修了者に対するアンケートの集計結果が公開され、教員間で共有されたが、今後のアンケートでマイナスの評価がつかないように各教員へ改善の働きかけは行えなかった。シラバスの基本項目や英語化、成績評価基準の点検、FD研修会の実施等、FD活動の主幹となる項目が概ね実施された。

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

授業アンケートのマイナスの評価内容について、機械工学類の教員間で共有し、今後のアンケートでマイナスの評価がつかないように各教員へ授業の改善を働きかける。
--

令和5年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 フロンティア工学類・フロンティア工学専攻

参考資料:「令和4年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和5年度に向けた改善計画		
自己評価	令和4年度の自己評価	総評
令和4年度FD活動の自己評価及び総評	4	今年度、フロンティア工学類の第一期生が卒業し、学類のカリキュラムが一巡した。準備期間が非常に短く、内容を十分に詰められないままの新学期のスタートであった上に、コロナ禍に見舞われたにも関わらず、現場の教員の奮闘により、なんとか卒業を送り出すことができた。これまでに明らかとなった問題点を踏まえて、カリキュラムの修正への検討も開始しており、新専攻の立ち上げと合わせて、よりよい学類を目指したFD活動が継続的に行われている。
授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和5年度に向けた改善計画 今年度カリキュラムが一巡して、いくつかの課題が見られており、カリキュラムの修正を含めて検討が始まっている。そのための参考資料として今後本格的に活用する予定である。

【令和4年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和5年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input checked="" type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和5年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数(概数)	備考	SGU
3学類合同FD研修会	3月21日	教育に活用できるソフトウェアの紹介を行った。Mathworks社にmatlabについて紹介いただき、オープンソースによるツールを紹介した。	関啓明学類長、ほか47名	フロンティア工学類 機械工学類 電子情報通信学類	

○照会事項5 令和5年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和5年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和5年度の自己評価	総評
4	安定した教育環境を整えられるように、シラバスやアンケートの確認を行っている。これまでに明らかとなった問題点を踏まえて、カリキュラムの修正への検討も開始しており、よりよい学類を目指したFD活動を継続的に行なっている。教育に活用できるソフトウェアに関するFD研修会を行い、プログラミングやグラフィックツールの教育での活用や、人工知能を利用したソフトウェアの利用法と注意点について紹介した。また、コロキウムと呼ばれる学生向けの講演会を行い学類選択やコア選択のための教育内容について紹介している。

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

アンケートの結果を踏まえて、カリキュラムの見直しを行っていく。社会を先導する人材を育成するために異分野の融合を進め、各科目について見直しを進めている。

令和5年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 電子情報通信学類・電子情報通信学専攻

参考資料:「令和4年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和5年度に向けた改善計画		
自己評価	令和4年度の自己評価	総評
令和4年度FD活動の自己評価及び総評	3	シラバスの基本的項目について点検し、問題ないことを確認し、学類で共有した。授業科目の英語化について点検した。教員相互の授業参観としてモデル授業について実施した。成績評価基準の記載を点検し、成績分布を調査し、問題ないことを確認し、学類で共有した。理工3学類合同のFD研修会を実施した。教育方法の改善に組織的に取り組み、推進できた。よって本年度のFD活動は概ね評価できる。
授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和5年度に向けた改善計画
		前年度に構築したLMS上のシステムを今年度も活用し、各教員が授業評価アンケートの結果を評価し、次の目標を設定し、授業改善を行った。この授業改善に関する組織的な取り組みを来年度も継続する。

【令和4年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和5年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組の実施状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input checked="" type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和5年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に關係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
理工3学類FD研修会	3月21日	教育活動のためのソフトウェアツールの活用	3学類の学類長、FD委員、ほか、合計48名	機械工学類、フロンティア工学類と合同開催	

○照会事項5 令和5年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和5年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和5年度の自己評価	総評
3	シラバスの基本的項目について点検し、問題ないことを確認し、学類で共有した。授業科目の英語化について点検した。教員相互の授業参観としてモデル授業について実施した。成績評価基準の記載を点検し、成績分布を調査し、問題ないことを確認し、学類で共有した。理工3学類合同のFD研修会を実施した。教育方法の改善に組織的に取り組み、推進できた。よって本年度のFD活動は概ね評価できる。

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

独自に作成したFD活動のためのLMSコースを活用し、各教員が授業評価アンケートの結果を評価し、次の目標を設定し、授業改善を行った。この取り組みを来年度も継続する。

令和5年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 地球社会基盤学類・地球社会基盤学専攻

参考資料:「令和4年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和5年度に向けた改善計画		
自己評価	令和4年度の自己評価	総評
令和4年度FD活動の自己評価及び総評	3	<p>コロナ禍におけるオンライン授業が増えるなかで授業の質を落とすことなく、DX技術などの新技術を活用した新しい授業方法について検討するため、学類FDシンポジウムを開催し、DX技術を活用した授業を行っている教員による話題提供から授業改善に役立つFD活動授業方法の共有を行った。また、本学類内では、これまで卒業生によるアンケートから優秀教員の選出を行っており、その優秀教員の授業方法について話題提供および意見交換することでそれぞれの教員の授業改善につながる活動を行った。</p> <p>以上の活動から、「概ね評価できる」FD活動であったと評価した。</p>
授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		<p>令和5年度に向けた改善計画</p> <p>授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートの結果をみると、回答率が悪く、全体の意見を網羅したものではないが、環境都市コース以外の地球惑星科学コース、土木防災コースは、「あまり達成していない」、「全く達成していない」と回答した学生はいない。学類内において、独自のアンケートを行っており、そちらの結果と比較しながら、授業改善に活かしたい。また、学類内アンケートにより選出された優秀教員に授業方法を講演頂き、そのテクニックを情報共有しており、それらの活動を通して今後も教育能力の底上げをしていきたい。</p>

【令和4年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和5年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input checked="" type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和5年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
地球社会基盤学類 FDシンポジウム	10月27日	(講演)JABEE審査の経験を通して 学類内の優秀教員による講演 JABEE関連の情報共有	学類長、専攻長、 FD委員ほか15名		

○照会事項5 令和5年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和5年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和5年度の自己評価	総評
3	次年度のJABEE審査に備えて、各教員における受審への意識を高めるために、JABEE審査員の経験がある民間のOBを招いて、「JABEE審査の経験を通して」と題した講演をして頂いた。また、本学類で独自に行っている卒業生によるアンケートから選出された優秀教員による授業方法について話題提供および意見交換を行い、それぞれの教員の授業改善につながる活動を行った。 以上の活動から、「概ね評価できる」FD活動であったと評価した。

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

DPIに対する達成度アンケートから、土木防災、環境都市コースでは、すべての項目に対して、「十分に達成している」「ある程度達成している」と回答した学生が8割を超えていたことから、十分な教育が行われていたと考えられる。また、学類内独自に行った卒業生アンケートでは、卒業生の研究室配属の方法について、不満が見られ、今後の改善方法を検討しなければならないと感じた。さらに、それぞれの科目ごとに行われた授業評価アンケートに対しては、各教員でリフレクションペーパーを記載することで次年度の授業改善に活かすように周知した。R6年度はJABEE受審があるため、すべての科目について過去2年分のリフレクションペーパーを準備することになっている。本学類では学類FDシンポジウムを毎年開催して各教員の教育能力の底上げを行う活動をしているため、今後も継続していきたい。
--

令和5年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 生命理工学類・生命理工学専攻

参考資料:「令和4年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和5年度に向けた改善計画		
自己評価	令和4年度の自己評価	総評
令和4年度FD活動の自己評価及び総評	3	各教員にシラバスの内容を確認の上、特に授業評価アンケートの回答率と評価の点検を求めた。回答率が昨年より低い傾向であったため学生に周知する必要があると考えられ、改善案についても意見を求めた。さらに成績評価においては、評価基準や成績分布について問題がないか確認を求めた。
授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		<p style="text-align: center;">令和5年度に向けた改善計画</p> 授業評価アンケートについては、各教員にアンケート結果の確認を周知、それに基づいた授業内容の改善を求めた。卒業・修了者アンケートについては、学類会議にて大まかな結果報告を行い、意見聴取を行った。また授業評価アンケートと同様に回答率が低い傾向にあったため、通知の方法を改善することとした。

【令和4年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和5年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input checked="" type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和5年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に關係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
実施なし					

○照会事項5 令和5年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和5年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和5年度の自己評価	総評
3	授業評価アンケートの回答率がやはり低い傾向にあったので学生への周知を徹底する必要があると考えられた。各教員にはシラバスの内容の確認、授業評価アンケートについて回答率と評価の点検を求めた。改善案についても意見を求めた。さらに成績評価についても評価基準や成績分布の確認を求めた。またレポートの作成法や学生実習の実施方法について独自の取り組みを行った。

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

授業評価アンケートについては、各教員に各アンケート結果の確認を周知、それに基づいた授業内容の改善を求めた。卒業・修了者アンケートについては学類会議にて大まかな結果報告を行い、意見徴収も行った。また授業アンケートと同様に回答率低い傾向にあったので通知の方法に改善が必要あると考えられた。
--

令和5年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 医学類

参考資料:「令和4年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和5年度に向けた改善計画		
自己評価	令和4年度の自己評価	総評
令和4年度FD活動の自己評価及び総評	4	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年10月1日に医学教育分野評価基準に適合しているとの認証を受けた。日本医学教育評価機構(JACME)から評価された評価報告書を踏まえて、今後の改善に向けて取り組んでいる。 ・医学類FD委員会委員に学生支援委員会委員、基礎系教員、臨床系WG委員が新たに参画し、内容の一層の充実に繋がった。新型コロナウイルス感染症の拡大下においても、医学系FD研修会を月1回程度オンラインで開催し、年間の参加者数は過去最多となった。医学系FD研修会のオンデマンド配信は継続し、より多くの教員がFDの内容をいつでも閲覧できる仕組みを構築している。また、年2回未満の参加者に対しては、オンデマンド教材の視聴とレポート作成を課した。 ・チュートリアル教育のチューター研修会を毎年開催することにより、教員のチュートリアル教育に対する理解が深まった。 ・OSCEステーション責任者会議は、責任者に対する説明・打合せを行った後、各責任者がそれぞれのステーションの担当教員へ説明を行う方式を取っており、多人数の担当教員への説明が効果的に行われた。 ・カリキュラム評価委員会を定期的に行い、科目別評価及び教員への評価のフィードバック、また評価に対する意見聴取等を行った。昨年度より学生が委員会に参画している。
授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		<p style="text-align: center;">令和5年度に向けた改善計画</p> カリキュラム委員会及び教育委員会を中心に、教育カリキュラムの改善に取り組む。医療人材教育研究センターの設立に伴い、医薬保健学域でのFD研修会の実施を予定している。

【令和4年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和5年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組の実施状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()

②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()
-----------------------	--

2-2 下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(サブスペシャリティ・ローテーション実習の英語の医療面接の授業において、CLAでご協力いただいている研究分野の教員に授業参観していただく機会を設けた。)

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和5年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
第1回医学系FD研修会	4月10日	医療人材教育研究センターの設置について	FD委員 含む72名		
第2回医学系FD研修会	5月15日	金沢大学医学類の使命	FD委員 含む56名		
第3回医学系FD研修会 (医療人材教育研究センター共催)	6月23日	多職種連携教育(IPE)へ取り組むには? 医療人材教育に求められるIPEへの展望と課題①	FD委員 含む25名		
第4回医学系FD研修会 (医療人材教育研究センター共催)	7月10日	多職種連携教育の必要性和実践	FD委員 含む43名		
第5回医学系FD研修会 (医療人材教育研究センター共催)	9月15日	多職種連携教育(IPE)へ取り組むには? 医療人材教育に求められるIPEへの展望と課題②	FD委員 含む17名		
第6回医学系FD研修会 (医療人材教育研究センター共催)	10月27日	第1回海外臨床研修セミナー	FD委員 含む9名		
第7回医学系FD研修会 (医療人材教育研究センター共催)	11月24日	多職種連携教育(IPE)へ取り組むには? 医療人材教育に求められるIPEへの展望と課題③	FD委員 含む9名		
第8回医学系FD研修会 (医療人材教育研究センター共催)	12月18日	発達障害等の支援ニーズがある学生に対する合理的配慮	FD委員 含む50名		
第9回医学系FD研修会	2月5日 ~2月29日	シラバス	FD委員 含む44名	LMSでのオンデマンド視聴および確認テストで欠確認を行った。	
第10回医学系FD研修会	3月11日	コアカリ(令和4年度改訂版)から新カリキュラムを考える	FD委員 含む40名		

○照会事項5 令和5年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和5年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和5年度の自己評価	総評
4	<ul style="list-style-type: none"> ・医学教育分野評価基準の1年毎の自己点検の作業を行い、日本医学教育評価機構(JACME)にその結果を報告し、本学医学類HP上でも2023年度年次報告書を公開している。 ・2023年度には医学系FD研修会を計10回実施した。今年度より医学類FD委員会は医療人材教育研究センターと連携することで、FD研修会の内容の充実に繋がった。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したため、オンラインだけでなく、対面でもFD研修会を開催した。医学系FD研修会の対象の教員(医学系および附属病院所属の教員)がFD研修会の内容をいつでも閲覧できるように、FD研修会の資料や録画した動画をLMS「医学FD」上で共有している。また、年2回未満の教員に対しては、オンデマンド教材の視聴とレポート作成を例年通り課した。 ・チュートリアル教育のチューター研修会を毎年開催することにより、教員のチュートリアル教育に対する理解が深まった。 ・OSCEステーション責任者会議は、責任者に対する説明・打合せを行った後、各責任者がそれぞれのステーションの担当教員へ説明を行う方式を取っており、多人数の担当教員への説明が効果的に行われた。 ・カリキュラム評価委員会を定期的に開催し、科目別評価及び教員への評価のフィードバック、また評価に対する意見聴取等を行った。医学類1～6年の各学年の代表者が同委員会に参画した。

【令和5年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

カリキュラム委員会及び教育委員会を中心として、「医学教育モデル・コア・カリキュラム令和4年度改訂版」を踏まえたカリキュラム改革を年度内に進める。医学類FD委員会と医療人材教育研究センターが連携して、FD研修会のさらなる充実を図っていく。

令和5年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 薬学類(創薬科学類)・創薬科学専攻・薬学専攻

参考資料:「令和4年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和5年度に向けた改善計画		
自己評価	令和4年度の自己評価	総評
令和4年度FD活動の自己評価及び総評	3	金沢大学の方針に従ったFD活動を今年度も実施した。薬学系では毎年、全教員を対象とする薬学系FD研修会を開催するとともに、新任教員を対象とした研修会を独自に開催することで、教育研究の質の向上と教務内容全般の確認作業を行っている。本年度も12月にFD研修会を開催し、公務欠席者を除けば、100%の出席率であった。本年度のFD研修会においては、「予習復習用動画教材の作成とLMSへの掲載方法」、「ハラスメントの防止 - 行為者にならないために -」をテーマに講演いただき、教員の能力及び資質向上となった。
授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		<p style="text-align: center;">令和5年度に向けた改善計画</p> 学類長・専攻長、学類・大学院の教務・学生生活委員長、就職担当教員、FD委員会委員長が卒業・修了者に対するアンケート結果を確認した。アンケートの結果から、学修等の良好な達成度、「金沢大学で学んだことに満足している」の設問の回答が100%という結果も得られた。現行の授業内容・方法が学生にとって概ね適切であると分析している。令和5年度もFD研修会を継続実施し、授業評価アンケート結果を踏まえた教員の教育能力向上に向けた取り組みを行う。

【令和4年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

以下、令和5年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input checked="" type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和5年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数(概数)	備考	SGU
令和5年度薬学系新任教員教務関連研修会	4月27日	教務全般の説明(カリキュラム、履修、成績判定、アカンサスポータルの運用、授業アンケート、アドバイザー制度)	薬学学類長、FD委員長、他5名	国際基幹教育院の協力を得た。	○
令和5年度薬学系(学類・大学院研究教育)FD研修会	12月10日	研修テーマ「薬学類のキャリア教育を考える」 ①「キャリア形成科目群」導入の背景と趣旨 ②各キャリア形成科目の内容紹介 ③「キャリア形成科目群」受講生の反応と今後の改善	薬学教員46名	全教員に参加義務を課している。	○

○照会事項5 令和5年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和5年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和5年度の自己評価	総評
3	金沢大学の方針に従ったFD活動を今年度も実施した。毎年、薬学系独自のFD研修会と、新任教員を対象とした研修会を開催している。今回も公務欠席者を除けば100%の出席率であった。薬学系FD研修会では「薬学類のキャリア教育を考える」をテーマに、薬学高度専門人材の養成に向けて「キャリア形成科目群」導入の背景と趣旨、科目の内容紹介、受講生の反応等について、説明を行った。教員間の情報共有、薬学教育の在り方等を考える機会となった。これらの活動を通して教育の改善・充実、教員の能力及び資質向上に繋がっている。

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

学類長・専攻長、学類・大学院の教務・学生生活委員長、就職担当教員、FD委員会委員長が卒業・修了者に対するアンケート結果を確認した。アンケートの結果から、学修等の良好な達成度、「金沢大学で学んだことに満足している」の設問の回答が100%という結果も得られた。現行の授業内容・方法が学生にとって概ね適切であると分析している。令和6年度もFD研修会を継続実施し、授業評価アンケート結果を踏まえた教員の教育能力向上に向けた取り組みを行う。

令和5年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 医薬科学類

参考資料:「令和4年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和5年度に向けた改善計画		
自己評価	令和4年度の自己評価	総評
令和4年度FD活動の自己評価及び総評	3	教育に関するFD(授業評価アンケートの結果を学類会議で共有する, シラバスの確認)については概ね実施できていた。一方, 組織だったFD活動(FD研修会など)については今後検討する。
授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ, 令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について, 具体的に記載してください。		令和5年度に向けた改善計画 授業評価アンケート内容のうち, 講義に関する提案(自由記載含む)が含まれている場合, その内容について学類会議で共有し, 必要に応じて担当教員に照会し, もっともな提案については改善を促すなど, 講義のあり方に実際に反映されるように取り組む。

【令和4年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下, 令和5年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について, 令和5年度の実施状況を選択してください。なお, 一部のコース等で実施した場合は, 実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について, 該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を, 授業方法・カリキュラムの改善のために, どのように活用しましたか。なお, 一部のコース等で実施した場合は, 実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について, 該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(複数の教員が担当する科目において、オンライン講義を相互に視聴できるようにした。)

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和5年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に關係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
令和5年度第1回医薬科学類FD研修会	10月26日	医薬科学類学生の現状について	医薬科学類長、 ほか12名	全教員が参加した。	○

各教員が所属する系で開催されたFD研修会に参加した。
学類長ほか5名は薬学系の研修会(1回)へ、副学類長ほか5名は医学系の研修会(13回のうち2回以上)へ参加した。

○照会事項5 令和5年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和5年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和5年度の自己評価	総評
3	教育に関するFD(授業評価アンケートの結果を学類会議で共有する、シラバスの確認)については概ね実施できていた。また、10月にFD研修会を開催し、「医薬科学類学生の現状について」と題してさまざまな統計資料に基づいて意見交換を行った。今後、さらに組織だったFD活動について開催を検討する。

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

前年度に引き続き、講義に関する提案(自由記載含む)が授業評価アンケート内容に含まれている場合、その内容について学類会議で共有し、必要に応じてその内容を担当教員に照会し、説得力のある提案については改善を検討するなど、今後、講義のあり方に実際に反映されるよう取り組みを行う。

令和5年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 保健学類・保健学専攻

参考資料:「令和4年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和5年度に向けた改善計画		
自己評価	令和4年度の自己評価	総評
令和4年度FD活動の自己評価及び総評	4	今年度は保健学系独自でFD研修会を3回開催し、「学習意欲向上に導く支援」「こころの健康とゲートキーパー」「ハラスメント防止」に関わる内容を取り上げた。多くの教職員が参加し、事後に実施したアンケートの結果も良好であった。医学系FD研修会についても毎回案内を行い、参加を促すことによって、医学教育に関するさまざまなトピックを学ぶ機会を提供した。また、授業評価アンケートについては、実施期間等を学生にアナウンスするだけでなく、クラス担任や指導教員からも学生に周知を行うなど、回答率向上のための工夫を講じるとともに、アンケート結果の授業担当教員へのフィードバックを行った。さらに、授業の改善や教育の充実を目的に、学類2、3年次を対象とした投票結果に基づき、優秀教育教員の選出を行った。全体を通して、予定していた活動を全て実施することができたため、大いに評価できると判断した。
授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和5年度に向けた改善計画 アンケート結果の授業担当教員へのフィードバックを引き続き行うとともに、集計結果から判明した改善すべき点については、改善に向けた働きかけや取り組みを進めていきたい。また、各教員がそれぞれの担当する授業で行っている優れた取り組みのノウハウを共有する機会を設けることや、オンライン講義を積極的に取り入れたブレンド型講義に関する研修会等を実施して、今後の授業の改善に努めていきたい。

【令和4年度の自己評価】4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和5年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和5年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数(概数)	備考	SGU
令和5年度第1回保健学系FD研修会	3月31日	こころの健康づくりについて	保健学類長、FD委員長、ほか24名		
令和5年度第2回保健学系FD研修会	4月5日	論文の評価	FD委員長、ほか70名	保健学類長が講師	
令和5年度第3回保健学系FD研修会	7月5日	SciValを使ってみましょう!	保健学類長、FD委員長、ほか68名		
令和5年度第4回保健学系FD研修会	12月6日	ハラスメントのないキャンパスをつくるためにアサーションの観点から考えるー	保健学類長、FD委員長、ほか42名		
令和5年度第5回保健学系FD研修会	3月6日	未来は自分で守る:HPVワクチンはなぜ必要か?	保健学類長、FD委員長、ほか40名		

○照会事項5 令和5年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和5年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和5年度の自己評価	総評
4	<p>今年度は保健学系独自に企画したFD研修会を計5回開催し、「こころの健康づくり」「論文の評価」「研究力分析ツールの活用」「ハラスメント防止」「HPVワクチン」に関わる内容を取り上げた。多くの教職員が参加し、事後に実施したアンケートの結果も良好であった。ハラスメント防止に関する内容は毎年取り上げているが、今年度はアサーションに着目した研修会を開催し、コミュニケーションがうまくいかないときや人間関係が難しいときの具体的な対処法について学ぶ機会を設けた。医学系FD研修会および医療人材教育研究センターFD研修会についても毎回案内を行い、参加を促すことによって、医療人材教育に関するさまざまなトピックを学ぶ機会を提供した。また、教育活動および研究活動の更なる充実を目的に、学類生の投票結果に基づく優秀教育教員の選出、および優れた業績を残した教員や大型的研究費を獲得した教員を対象とした優秀研究教員の選出を行うとともに、これらの選出基準や選出方法についても見直しを行った。これらの活動を含め、当初予定していた活動を全て実施することができたため、大いに評価できると判断した。</p>

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

<p>授業評価アンケートや卒業・修了者に対するアンケートの結果は、令和6年度も引き続き授業担当教員へのフィードバックを行い、必要に応じて改善に向けた働きかけや取り組みを進めていきたい。また、優秀教育教員に選出された教員が行っている優れた取り組みの共有、アクティブラーニングの導入推進、DXの推進などを通して、教員の教育能力の向上のための取り組みを進めていきたい。</p>

令和5年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 人間社会環境研究所

参考資料:「令和4年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和5年度に向けた改善計画		
自己評価	令和4年度の自己評価	総評
令和4年度FD活動の自己評価及び総評	4	令和5年度は、企業・各種団体へのアンケートおよび学類生への進路意識調査を実施し、時間をかけて分析を加えたものをFD研修会に提示して、大学院修了後の進路に関する学生指導に有益な情報を共有するとともに、さらに集団的分析を加えた。とくに、従来は理系大学院修了者への期待と需要が高いと目されてきた分野でも人文社会科学系院生への潜在的需要が高いことが示され、それを現実化させるための方途について意見交換されたことは有意義であった。
授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		<p>令和5年度に向けた改善計画</p> <p>新たに設けられた大学院GS科目について、院生の声を把握して内容のさらなる充実をはかるとともに、従来からの科目についても、各種アンケートを実施するなどして不断の改善をすすめていく。</p>

【令和4年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和5年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(新型コロナの感染拡大が完全に収束したとはいえない状況に鑑み実施していない。)

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(大学院授科目は5名以下の科目が多く、分布の偏りについて検証できるだけのデータを得られていないことから現状では成績評価分布について調査を計画していない。)

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和5年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
令和5年度第1回人間社会環境研究科FD研修会	1月23日	文科省担当者を招いて、さまざまなデータを基に分析した人文科学・社会科学系大学院の現状および問題点や、改革の方向性について意見を伺い、意見交換した。	研究科長はじめ 全学から51名		
令和5年度第2回人間社会環境研究科FD研修会	3月7日	文系大学院と企業・団体との連携に関するアンケート調査結果の分析と意見交換	研究科長はじめ30名		
令和5年度第3回人間社会環境研究科FD研修会	3月21日	第2回FD研修会で分析したデータを基に、研究科長が文系大学院への進学ニーズについて分析・報告し、意見交換した。	研究科長はじめ 20名程度		

○照会事項5 令和5年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和5年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和5年度の自己評価	総評
4	令和5年度は、文系大学院の進路をテーマにFD研修会を実施した。「文系大学院と企業・団体との連携」というこれまで十分に検討されてこなかったテーマで、独自に工夫されたアンケートを実施し、集团的に分析を加えた。とくに、理系大学院学生に対する期待が高く需要も大きいと考えられてきた分野においても、人文社会系院生への期待が高く、潜在的需要も大きいことが確認されたことは、貴重な成果であった。研修会での議論により、アンケートをさらに充実させる方向性が共有されたので、今後も定期的にこの分野でのアンケートを実施するとともに、潜在的需要をどのようにして実際の進路選択・就職につなげていくかの集团的検討が必要であることが確認されたことも成果である。

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

各種アンケートを実施しその結果について情報共有して、改善方策について検討するとともに、これらを参考にして授業の内容や実施方法の検討を行う。また、院生研究室の形態などを順次変更していく途上にあるが、その際に卒業・修了者に対するアンケートや意見交換会などで示される学生からの意見も参考としていく。

令和5年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 医薬保健学総合研究科(修士課程・医学博士課程)

参考資料:「令和4年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和5年度に向けた改善計画		
自己評価	令和4年度の自己評価	総評
令和4年度FD活動の自己評価及び総評	3	国際基幹教育院との共催により、アクティブ・ラーニングを主としたFD講習会を定期的を実施することができた(医学類との合同開催)。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修会は遠隔会議システムを用いた開催とした。授業評価アンケートについては、Webによる効率的なアンケートを主体実施とすることを目指す。
授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和5年度に向けた改善計画 修了者アンケートの結果から、医学博士課程、修士課程ともに概ね学修等に満足している結果が得られた。 医学博士課程においては、課題が2つ明らかとなった。①複数指導体制について、学生に注意喚起などを行ったものの、十分に認識していない学生が約半数存在した。指導教員からの啓発、学生達への通知の強化を今後検討する。②履修スケジュールを新たに手引きに記載することしたが、単位の修得方法、時期を理解しにくいという学生意見が残存した。さらに、履修案内を密に行う方法を検討する。修士課程においては、在学期間中すべてコロナ禍の影響を受けた学生が修了した。既に対面授業がメインとなりつつあるが、ポストコロナに向けて、対面授業や交流を促進する。

【令和4年度の自己評価】4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和5年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和5年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に關係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数(概数)	備考	SGU
医学系FD研修会	毎月1回第2月曜日(8月、1月を除く)	アクティブ・ラーニング(特に授業のオンライン化に伴う手法)、カリキュラムとポリシー、シラバス、学生支援(メンタルヘルス、多職種連携教育、留学生対応)等	20名～50名		○

○照会事項5 令和5年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和5年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和5年度の自己評価	総評
3	新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、FD研修会(医学系)を対面で開催することができた。今年度より医学類FD委員会は医療人材教育研究センターと連携することで、医学系だけでなく、薬学系や保健学系の教員も参加可能なFD研修会の実現を目指した。授業評価アンケートについては、Webによる効率的な実施とすることができた。

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

修了者アンケートの結果から、医学博士課程、修士課程ともに概ね学修等に満足している結果が得られた。医学博士課程における2点の継続課題について、①複数指導体制について、令和5年度においても、3分の2の学生が十分に認識していない結果であった。今後は本人に周知するなど、指導体制を充実させることを検討する。②単位の修得方法、時期を分かりやすく手引きに明示することにより、分かりにくいという学生の意見に減少傾向が見られるが、継続して実施する。 修士課程においては、新型コロナウイルス感染症の5類への移行により、対面授業、交流を促進することが可能となったため、令和6年度も継続する。
--

令和5年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 先進予防医学研究所

参考資料:「令和4年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和5年度に向けた改善計画		
自己評価	令和4年度の自己評価	総評
令和4年度FD活動の自己評価及び総評	3	シラバス点検により、主に英語化率に関する記載内容の改善を図った。千葉大学・金沢大学・長崎大学先進予防医学共同専攻合同FD講演会において、医療情報の収集と利活用に関する情報等を共有し、教育方法の改善へつなげることができた。また、令和3年度に実施した自己点検・評価ならびに外部評価を参考にしつつ、3大学共同専攻の教育活動等の改善を図ることができた。
授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和5年度に向けた改善計画 3大学先進予防医学共同専攻として実施した自己点検・評価ならびに外部評価結果に基づき、授業評価アンケートおよび修了者に対するアンケートを教育活動改善に活用するための、3大学共同のシステム作りを引き続き取り組む。効果的なオンラインコンテンツ(講義ならびに実習)を増やし、有効に活用するため、今後も3大学合同FD講習会を継続して実施し、シラバス記載内容ならびに教育方法の改善に取り組む。

【令和4年度の自己評価】4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和5年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input checked="" type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(複数教員が担当する科目において、オンライン講義を相互視聴できるようにした。)

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和5年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名称	開催日	概要	参加人数(概数)	備考	SGU
金沢大学・千葉大学・長崎大学 合同先進予防医学共同専攻 FD講演会	2月29日	共同専攻合同のFD講演会を千葉大学主催で実施した。「大学院教育にコーチングを活用する一個々の強みを伸ばし、成長を促すアプローチ」のテーマで、Webにより開催した。	3大学の担当教員、学生45名		

○照会事項5 令和5年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和5年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和5年度の自己評価	総評
3	シラバスの点検を行い、記載内容の確認を行った。千葉大学・金沢大学・長崎大学先進予防医学共同専攻合同FD講演会において、大学院教育におけるコーチング活用に関する情報を共有し、教育方法の改善へつなげることができた。授業評価アンケート結果は、授業担当者間で共有するとともに、今年度より公開した。

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

授業評価アンケートおよび修了者に対するアンケートに講義・実習授業に対する提案が含まれている場合は、その内容について研究科内で共有し、検討を行うなどにより教育活動の改善に取り組む。効果的なオンラインコンテンツ(講義ならびに実習)を増やし、有効に活用するために、3大学合同FD講習会を継続して実施し、シラバス記載内容ならびに教育方法の改善に取り組む。

令和5年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 新学術創成研究科

参考資料:「令和4年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和5年度に向けた改善計画		
自己評価	令和4年度の自己評価	総評
令和4年度FD活動の自己評価及び総評	3	FD研修会により、教育内容及び実施方法について、教員間で積極的に検討を行う機会を設けることができた。
授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和5年度に向けた改善計画
		各専攻事の教務・学生生活委員会等で、アンケート結果より課題を抽出し、次回FD研修会での実施内容を整理し、研修会を開催する予定。

【令和4年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和5年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(融合科学共同専攻において、「異分野『超』体験セッションⅠ(博士前期課程)・Ⅱ(博士後期課程)」の授業を、専任教員に遠隔配信(webEX)にて公開した。

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和5年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
融合科学共同専攻FD研修会	3月1日	本学とJAIST間で相互の研究内容についての理解や異分野融合を促進させる指導法等について議論	専攻長 他9名	全体13名 ※他、オンラインでJAIST 教員	
ナノ生命科学専攻FD研修会	3月6日	留学生受入れに関する注意点について、具体的な事例を使ったワークショップ	専攻長 他12名	全体16名	

○照会事項5 令和5年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和5年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和5年度の自己評価	総評
3	各専攻における課題について、教員間で積極的に検討を行う機会を設けることができた。特に留学生の受入れに関しては、複数の具体的な事例を題材に、ワークショップ形式で考えることにより、理解を深めることができた。

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

今年度も引き続き、教員間で研究内容についての相互理解を深めるとともに各専攻における課題に着目した研修会を計画し実施する。また、アンケート結果も踏まえ、異分野融合を促進させる指導方法等について検討する。

令和5年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 法学研究科(修士課程・専門職学位課程)

参考資料:「令和4年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和5年度に向けた改善計画		
自己評価	令和4年度の自己評価	総評
令和4年度FD活動の自己評価及び総評	4	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院進学に関する意識調査を学類学生と専攻所属の学生に対して実施し、その結果についてFD研修会において報告し議論した。大学院進学を希望する学生や専攻の在学者の今後の指導に活かせる情報が共有された(法学・政治学専攻)。 ・組織的・継続的に、可能な限りの取組がなされ、毎年改善されている(法務専攻)。
授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		<p style="text-align: center;">令和5年度に向けた改善計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生アンケートの結果と議論で共有された教員の所見や問題提起を参考として在学者の指導を行い、大学院説明会の内容に反映させることを検討する。(法学・政治学専攻) ・アンケート結果、及び、各教員によるアンケートに対する所感・意見をとりまとめて教員間で共有し、FD研修会において継続的に検討する。また、意見交換会の際に、弁護士からの意見も聴取する(法務専攻)。

【令和4年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和5年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。(法学・政治学専攻) <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。(法学・政治学専攻) <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した(法学・政治学専攻)。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした(法学・政治学専攻)。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした(法学・政治学専攻)。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。(法務専攻) <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。(法務専攻) <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。(法務専攻) <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。(法務専攻) <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。(法務専攻) <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input checked="" type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。(法務専攻) <input checked="" type="checkbox"/> その他(弁護士による授業参観も実施し、意見交換会において、実際に参観した弁護士からの意見を聴取している(法務専攻))

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。(法務専攻) <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。(法務専攻) <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。(法務専攻) <input checked="" type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。(法務専攻) <input checked="" type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。(法務専攻) <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和5年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数(概数)	備考	SGU
第1回FD研修会	6月13日	法学研究科への進学に関する意識調査の結果報告	専攻担当 教員21名		○
【法務専攻】第1回意見交換会	7月20日	授業参観、加算プログラムについて	教員11名 (専攻長含む)、 弁護士6名		
【法務専攻】第1回FD研修会	9月5日	アドバイス教員制度の再検討について	教員13名 (専攻長含む)		
【法務専攻】第2回意見交換会	1月17日	弁護士からの授業または授業参観をしての感想等について	教員11名 (専攻長含む)、 弁護士4名		
【法務専攻】第2回FD研修会	3月12日	共通到達度確認試験の結果、中間・期末アンケートのありかた、2年生の早期履修の学習効果について	教員11名 (専攻長含む)		

○照会事項5 令和5年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和5年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和5年度の自己評価	総評
4	・法学研究科への進学に関する意識調査の結果分析をFD研修会にて議論した結果を、大学院説明会の改善(在学学生による大学院生活の紹介と質疑応答を追加)に活かすとともに、大学院進学を希望する学生や専攻の在学学生の今後の指導に活かせる情報を教員間で共有した(法学・政治学専攻)。 ・組織的・継続的に、可能な限りの取組がなされ、毎年改善されている(法務専攻)。

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

・各種アンケートに加えて在学学生と直接意見交換する場を設けて学生のニーズを把握し、学修環境と組織体制の改善に努める(法学・政治学専攻)。 ・アンケート結果、及び、各教員によるアンケートに対する所感・意見をとりまとめて教員間で共有し、FD研修会において継続的に検討する。また、意見交換会の際に、弁護士からの意見も聴取する(法務専攻)。

令和5年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 教職実践研究科

参考資料:「令和4年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和5年度に向けた改善計画		
自己評価	令和4年度の自己評価	総評
令和4年度FD活動の自己評価及び総評	4	令和5年度から「探究教育」と「共生教育」の2領域の高度化科目での学びがスタートすることを踏まえ、①教員・大学院学生への、「探究」に係る公開授業を実施し、活発な意見交換も展開した。②附属学校園との連携を深めるために夏の研究フォーラムに積極的に参加した。③金沢大学附属コラボレーション推進室長福田晃氏の講演から「金沢モデル」アクションプランについて学んだ。また、将来構想委員会において、探究学習や共生教育を多面的・多角的に展開することができ、さらに特別支援教育の専修免許取得が可能なカリキュラム開発に取り組んだ。
授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和5年度に向けた改善計画 教職実践研究科におけるFD活動を、公開授業を含む年3回計画している。令和5年度新設「探究教育」と「共生教育」の2領域の高度化科目に係る内容等についてFD会議を定期的に開催し、研究・検証する。

【令和4年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

以下、令和5年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input checked="" type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和5年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に關係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数(概数)	備考	SGU
第1回FD研修会	7月1日	開かれた教職大学院の学びの場として第1回「オープン・ラボ」を開催し子どもの居場所の映画上映及びスウェーデンの自然環境教育者の異氏を招聘し、公開研修会を開催した。	研究科長・学類長・FD委員を含む60名	環境教育分野の国際連携(公開)	○
第2回FD研修会	8月23日	学校教育学類・教職実践研究科・附属学校園研究推進委員会主催「夏の研究フォーラム」へ参加	研究科長・FD委員を含む20名	学校教育学類、附属学校園と共催	
第3回FD研修会	8月26日	NPO法人「金沢ユースセンター」副所長を招き放課後の高校生の居場づくりの取り組みに関する研修会を行った。	研究科長・FD委員を含む35名	NPO法人との連携(公開)	
第4回FD研修会	9月1日	新科目「子ども社会と探究フィールドワーク」の活動報告会を、校外施設当事者も招き実施した。	研究科長・FD委員を含む35名	フリースクール、子ども保育園、放課後学童施設との連携	
第5回FD研修会	9月5日 9月7日	ウプサラ大学のケスキ・マエンパ氏を招聘し、教育におけるアクションリサーチ並びにフィンランドの教員養成に関する研修会を開催した。	研究科長・FD委員を含む30名	部局間協定に基づく国際連携(公開)	○
第6回FD研修会	11月23日	「実践カンファレンス」において富山大学教職大学院院生を招き合同研修会を実施した。	FD委員を含む20名	富山大学教職大学院との連携	
第7回FD研修会	12月13日	新科目「学校組織と共生教育のデザイン」で、国際機関教育院飯田玲子氏を招き、教育におけるLGBTQ+についてのFD研修会を行った。	研究科長・FD委員を含む25名	国際基幹教育院との連携	

○照会事項5 令和5年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和5年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和5年度の自己評価	総評
4	学生の学習成果を把握するため、教務・FD委員会の下、全ての授業に対して「授業改善のための学生アンケート」を、年間4回実施し、アンケート結果から各授業の学習成果等の分布を客観的に把握している。令和5年度から「探究教育」と「共生教育」の2領域の高度化科目での学びがスタートすることを踏まえ7つの活動に取り組んだ: ①開かれた教職大学院の学びの場とし「オープン・ラボ」の開催、②NPO法人との連携、③附属学校園との連携、③「共生」に係る授業を中核とした公開研修会の実施、④部局間協定校との国際セミナーの開催、⑤特別支援学校教諭専修免許の課程認定を受けての新しいカリキュラム開発、⑤富山大学教職大学院と連携し、院生主体の授業の相互参観を実施し、昨年度よりも多面的・多角的なFD活動を実施できた。

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

教職実践研究科におけるFD活動を、各クォーターで公開授業を含む年4回計画している。特に、R6年能登半島地震に関する授業を「探究教育」と「共生教育」の2領域でFD授業を実施する。また、R6年度から新たに開始する特別支援学校教諭専修免許の課程認定科目を中心として、その内容等を教務・FD委員会を定期的開催しながら、研究・検証していく。さらに、R5年度に試行した富山大学教職大学院との共同のFD活動を定例化する予定である。

令和5年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 国際基幹教育院(GS教育部門)

参考資料:「令和4年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和5年度に向けた改善計画		
自己評価	令和4年度の自己評価	総評
令和4年度FD活動の自己評価及び総評	3	昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症問題によって授業実施方法が不安的な状況であった中、FD研修会を年度内に3回実施した。各科目で自主的なFDを複数回実施しており、効果的なアクティブ・ラーニングを実現する、あるいは英語授業の効果を向上させるなど、授業改善にむけた効果的なFDが実施できていたと考えている。GS教育系は医薬保健、理工、社会科学や芸術まで全学術領域にまたがる内容であり、学類と比較すると科目の個別性・特殊性がより強いと言えるが、全科目で共有できるテーマを見出し、これからもFDを実施していきたい。
授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和5年度に向けた改善計画
		—

【令和4年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

以下、令和5年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和5年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に關係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数(概数)	備考	SGU
令和5年度第1回GS教育系FD研修会	5月18日	総合教育部担任経験のある教員が中心となり、「総合教育部担任マニュアル」を作製した。担任業務内容とマニュアルの注意点について紹介がなされた。	教育院長, 外国語系長, GS系長, FD委員含む27名	外国語教育系との 共同開催	
令和5年度第2回GS教育系FD研修会	7月20日	GS教育系アクティブ・ラーニング検討WGにより「分子モデル描画ソフトによる分子の立体構造の効果的学習法」、「体育実技における映像フィードバックの活用」、「物理シミュレーションを用いたアクティブ・ラーニング」、「学生の授業外学修時間が学修目標達成度に及ぼす影響」について報告された。	教育院長, 外国語系長, GS系長, FD委員含む23名	外国語教育系との 共同開催	
令和5年度第3回GS教育系FD研修会	9月26日	女性や性的マイノリティ学生に対してどのような配慮をおこなうことが教員に求められているのか、セーフスペースをどのように構築することができるのか、学生からの声を紹介しながら意見交換が行われた。	教育院長, 外国語系長, GS系長, FD委員含む13名	外国語教育系との 共同開催	
令和5年度第4回GS教育系FD研修会	11月16日	医学教育分野別評価、医学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂、医師法の改正等、近年の日本の医学教育を取り巻く環境は刻々と変化している。医学類のアクティブ・ラーニング型授業や学生も参画する授業カリキュラムの作成・改良委員会等、先進的な取り組みが紹介された。	教育院長, 外国語系長, GS系長, FD委員含む17名	外国語教育系との 共同開催	
令和5年度第5回GS教育系FD研修会	12月14日	大人数の講義では、受講生のレポートを統一した評価基準で採点すること、受講生同士の双方向性やアクティブ・ラーニングを実現することが困難である。受講者同士の相互採点および受講者同士の採点者評価を導入したレポート採点法により、高い双方向性の教育が成り立つことが報告された。	教育院長, 外国語系長, GS系長, FD委員含む34名	外国語教育系との 共同開催 全学周知	
令和5年度第6回GS教育系FD研修会	1月18日	LINE対応AI ChatBotは、ChatGPT 3.5を基にGS教育科目健康科学のテキスト・スライドや厚生労働省の国民向け健康情報サイトe-ヘルスネットを学習し、学生の質問に対し迅速かつ正確に回答した。モニター学生の反応、ChatGPT 4.0を使用したベータ版開発の進捗状況についても報告がなされた。	教育院長, 外国語系長, GS系長, FD委員含む25名	外国語教育系との 共同開催	
令和5年度第7回GS教育系FD研修会	2月8日	未来から現在すべきことを考え、施策立案や人材育成に活かす手法として「フューチャー・デザイン」が注目されている。フューチャー・デザイン導入による学生のマインドセットの変化について報告がなされた。	教育院長, 外国語系長, GS系長, FD委員含む18名	外国語教育系との 共同開催	

○照会事項5 令和5年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和5年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和5年度の自己評価	総評
3	<p>本年度はGS教育系主催で7回のFD研修会を実施した。「総合教育部の運営マニュアル」、「アクティブ・ラーニングの技能改善」、「LGBTQ+の理解と問題点」、「受講生相互採点による成績評価法と双方向性の高い教育の実現」、「生成AIを利用した教育支援」、「フューチャー・デザインの導入」に関する内容を取り上げ、各研修会では積極的な意見交換が行われた。また、GS教育系の各科目では、担当教員間での自主的なFD活動が複数回実施されており、アクティブ・ラーニングや英語授業の効果の向上等、授業改善に向けた効果的なFD活動が実施できていたと考えられた。外国語教育系主催のFD研修会への積極的な参加を促すことにより、共通教育における相互理解と問題点の共有に取り組むことができた。GS教育系は医薬保健、理工、社会科学や芸術まで全学術領域にまたがる内容であり、他の学類と比較すると科目の個別性・特殊性がより強いと言えるが、アクティブ・ラーニングの手法、成績評価方法や生成AIによる教育支援等の全科目で共有できるテーマを見出し、これからも効果的なFD活動を実施していく予定である。</p>

【令和5年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

--

令和5年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 国際基幹教育院(外国語教育部門)

参考資料:「令和4年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和5年度に向けた改善計画		
自己評価	令和4年度の自己評価	総評
令和4年度FD活動の自己評価及び総評	4	<p>令和4年度は外国語教育部門のすべての教育企画部(EAP教育企画部・国際試験教育企画部・初習言語教育企画部)において、新規の取り組みを含む充実したFD活動を実施した。EAP教育企画部では例年実施しているEAPワークショップ(コロナ禍のためオンライン開催)に加え、新たなFD活動として「EAP Chat I 及び II」を実施した。更にはEAP教育企画部では「金沢大学EMI科目の現状と今後の展望」と題した第3回全学FD研修会を対面及びオンラインでハイブリッド開催し、多くの方に参加いただいた。また、報告内容の一部を冊子体およびPDF版として発行し、学内教員に配布できるようにした。</p> <p>学生に語彙力向上を促す目的で「金沢大学ポキャブラリーコンテスト2022」をはじめ開催するにあたり外国語教育系でWGを立ち上げ、企画運営にあたり、英語担当教員全員参加から語彙問題を募った。これに関連し次に挙げる2つのFD活動を実施した。国際試験教育企画部では、語彙力をつけさせる有効な教授方法の研究分野における第一人者の一人を他大学から外部講師として招き、対面形式でワークショップ形式の研修会を実施した。これに加えて、TOEIC関連で多数の著書がある外部講師を招き、「英語語彙問題作成セミナー —TOEIC Part 5 で学ぶ問題作成の視点と考え方—」と題したワークショップ型研修会をハイブリッド形式(外部講師はオンライン)で開催した。</p> <p>融合学域、教学マネジメントセンター、保健管理センターと共催で国際基幹教育院として、スタンフォード大学教授による「スタンフォードと睡眠医学—最高の睡眠で最幸の人生を—」と題したFD講演研修会を実現した。また、人文学類/人間社会研究域言語研究グループとの共催で講師2名を招き、第4回金沢言語学フォーラム/初習言語(中国語)FD研修「中国語の時空間—くいま、ここから見えるもの」を実施した。更には未来創成環、附属図書館との共催で他大学所属の第一人者を招き、「学術リテラシー教育としてのライティング授業とライティングセンターの連携」と題したFD/SD講演会を開催し、講演会後には講師から科目開発研究への助言を得るとともに関係教員との意見交換会を実施した。</p> <p>初習言語・EAP・TOEIC準備科目の6科目で相互授業見学を実施し、延べ40名が参加した充実したものとなった。</p> <p>具体的授業実践の相互見学、新たな教育支援に関連した多様なFD活動の取り組みに加え、他部局・学類との連携した講演・研修会が複数実施されるなど活発なFD活動が展開された。</p>
授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和5年度に向けた改善計画

【令和4年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和5年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(教育企画部コーディネーターで結果を分析し、新カリキュラム策定委に活かした。)
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input checked="" type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input checked="" type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和5年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に關係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
第1回外国語教育系FD研修会 ER in the Second Language Classroom	6月7日	第二言語習得における多読についての講演(Gregory Hadley 新潟大学教授)	系長ほか 12名		○
第2回外国語教育系FD研修会 TOEICスコアの社会での活用についての紹介	6月26日	TOEICテストをめぐる最新動向および本学学生のTOEIC スコアの推移についての説明(IIBC (国際ビジネスコミュニケーション協会)担当者より)	系長ほか 12名		○
第3回外国語教育系FD研修会 (国際試験教育企画部企画) 「英語語彙問題作成セミナー TOEIC Part 5で学ぶ問題作成の視点と考え1」	9月12日	TOEIC Part 5 を題材として語彙問題作成セミナー:問題作成のポイント解説 (前田広之氏)	系長ほか 12名		○
第4回外国語教育系FD研修会 (国際試験教育企画部企画) 「英語語彙問題作成セミナー TOEIC Part 5で学ぶ問題作成の視点と考え2」	9月19日	TOEIC Part 5 を題材として語彙問題作成セミナー:参加者が作問した問題の講評を中心として解説 (前田広之氏)	系長ほか 12名		○

国際基幹教育院FD研修会 新外国語カリキュラム教員 研修会— ポストSGUプログラムの外国語教育	9月26日	2023 年度で終わりを迎えるSGUプログラムにおける外国語教育の総括を行った上で、新英語・初習言語カリキュラムの改革点についての説明、及び報告学術リテラシー関連の報告	教育担当理事、全学教務委員長、院長、系長名(内オンライン70名)	全学FD研修会 対面とリモートのハイブリッド開催	○
第5回外国語教育系FD研修会 (EAP/国際試験 教育企画部企画) 生成 AI の登場に伴う技術英語スキルの育成	10月4日	機械翻訳およびChatGPTの利点と欠点を知った使いこなし術、SNS、YouTubeなど身近なツールを用いた英語学習について(中山裕木子氏(株)ユー・イングリッシュ)	系長ほか 14名	オンライン開催	○
第6回外国語教育系FD研修会 (国際試験教育企画部企画) Skills For Academic English and TOEIC Success: Listening and Speaking	10月24日	「Practical English」(「TOEIC準備」後継科目)で採用する統一テキストの活用についての解説及びQ&A(OUP出版Robert Peacock氏およびCharles Ullmann氏)	系長ほか 12名		○
第7回外国語教育系FD研修会 (初習言語教育企画部企画) 初習言語カリキュラム説明会	2月9日	2024年度からの初習言語カリキュラムに関する授業担当者向け説明会	20名		○
第8回外国語教育系FD研修会 (EAP教育企画部企画) EAP new curriculum from 2024	2月16日	2024年度からの新EAPカリキュラムに関する授業担当者向け説明会	系長ほか 15名		○
LiLa対象チュータリング研修	3月6日	Library Learning Advisor (LiLa)を対象としてチュータリング研修(片山晶子氏)	9名 (オンライン)		
未来創成教育環 FD シンポジウム 「教育現場の AI 使用」	3月13日	トム・ガリー東京大学グローバル教育センター特任教授の基調講演および学内3教員(中澤富准教授、野村彰浩准教授、八柳祐一教授)による事例紹介	教育担当理事、全学教務委員長、学長補佐、院長、系長 118 名 (内オンライン70名)	未来創成教育環主催 全学FD研修会 対面とリモートのハイブリッド開催	○

○照会事項5 令和5年度FD活動の自己評価及び総評

5—1 貴部局等での令和5年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和5年度の自己評価	総評
4	<p>令和5年度はすべての教育企画部(EAP教育企画部・国際試験教育企画部・初習言語教育企画部・未来教育創成環教育企画部)において充実したFD活動が実施された。</p> <p>2022年度設置した英語将来構想WGが英語科目の抱える課題の洗い出しを行い、2024年度開講予定の新カリキュラムの方向性を提示した。(1)「英語で教授する」、(2)「共通シラバス・共通教材(共通教科書)・共通試験・評価」、(3)外部客観試験スコアを用いた学生の英語力の悉皆経年把握、(4)教育企画部による統一コース管理という特徴を継承しつつも、より確かな英語読解力、事象を批判的に捉える力(クリティカル・シンキング)、英語による発信力、汎用的知的コミュニケーション能力、本質的課題を見出しそれらの解決を思考する姿勢を育成・涵養するプログラムの開発が各教育企画部に指示された。これらの方針に基づき、国際試験教育企画部とEAP教育企画部は改革案をまとめ、科目開発およびシラバス・教材・教員マニュアルの全面的改訂を行った。</p> <p>国際試験教育企画部は、従来「TOEIC準備コース」で扱っていたTOEICテスト対策の要素は残しつつ、より汎用的な実践英語を扱う「Practical English」という新コースを開発し、教科書もTOEIC対策に特化したものからより汎用的でクリティカル・シンキングの要素を入れた新しいものへと変更した。なお、客観試験の最終成績に占める比率を70%にするなど成績評価基準も変更した。</p> <p>EAP教育企画部は、生成AIや機械翻訳への対応を考慮し、従来のEAPコースの内容に加えて、自分以外が書いたテキストへの評価や語彙、クリティカル・シンキングの自習教材・小テストを新たに導入し、主観的評価要素を排した客観的評価の要素が成績全体の30%を占めるような成績評価制度を構築した。なお、1年次学術リテラシー教育の基礎的科目と位置づけられる「アカデミックスキル」「プレゼンディベート論」とEAPコースの連携を強めるために、各クォーターの授業で扱う内容や順序を適正化した。</p> <p>学術リテラシー教育企画部は、全学的な学術リテラシー教育の推進のため2年次以上を対象とする英語学術リテラシー科目5コース20科目を開発し、令和6年度については共通教育自由履修科目としてパイロット開講することにした。</p> <p>初習言語教育企画部では、学類との連携を強めより統一的に初習言語科目を運営するために、初習言語科目カリキュラム連絡会を設置した。また、初習言語科目カリキュラム改革WGを設置し、新カリキュラム作成検討準備会議を2023年度において30回以上開催した。これまでの初習言語科目の開講形態を抜本的に見直し、教育企画部による統一コース管理(統一教育目標、統一開講時間帯)を導入した新たなカリキュラムを立案・構築し、新カリキュラムのポイントをまとめた冊子『共通教育初習言語カリキュラム要覧』を作成し、関係教員に配布した。</p> <p>生成AIの台頭を踏まえたFD研修会ほか他部局・学類との連携した講演・研修会が複数件実施されるなど活発なFD活動が展開された。これらの多様なFD活動を活かしてポストSGUの外国語教育改革に取り組み、新カリキュラムをまとめ上げた。</p>

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5—2 授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

令和5年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 学術メディア創成センター

参考資料:「令和4年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和5年度に向けた改善計画		
自己評価	令和4年度の自己評価	総評
令和4年度FD活動の自己評価及び総評	3	データサイエンス基礎の本センターが担当している部分については、メール等を用いて授業改善に役立てることができたことや、slack等を用いてお互いの授業を報告し情報共有と即時の授業改善に役立てられたこと、および令和5年度に向けてセンター教員全員で講習ができたので、概ね評価できる。
授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和5年度に向けた改善計画 —

【令和4年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和5年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input checked="" type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和5年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
データサイエンス基礎の授業の実施説明会	3月21日	次年度(令和6年度)のデータサイエンス基礎の実施に向けた研修会	9名		

○照会事項5 令和5年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和5年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和5年度の自己評価	総評
3	データサイエンス基礎の本センターが担当している部分について、令和6年度に向けて本センター教員全員で講習ができたこと、またメールやslack等を用いてお互い担当の授業を報告・情報共有しリアルタイムで授業改善に役立てられたことから、概ね評価できる。

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

--

令和5年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 国際機構

参考資料:「令和4年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和5年度に向けた改善計画		
自己評価	令和4年度の自己評価	総評
令和4年度FD活動の自己評価及び総評	3	国際機構には、留学生に充実した学修・生活指導を提供することに加え、既存の派遣・受け入れショートプログラムの運営と改善、並びに新規プログラムの開発が強く求められている。そのため令和4年度も、各担当分野の担当者同士が意見交換を重ね、創意工夫しながら活動を行った。具体的には、SNSの活用により、非常勤講師との情報共有を活性化したこと、また、今年度は、対面による授業相互見学を再開したことにより、FD活動を促進した。
授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。	3	令和5年度に向けた改善計画

【令和4年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和5年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input checked="" type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(総合日本語プログラムの授業はすべて、担当者が互いに教材や授業の進め方などについての報告及び問題点の指摘などを行えるよう、定期的なミーティングを行っている。)

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和5年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和5年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース名等を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
国際機構FD強化週間	令和5年12月18日 ～22日	国際機構教員(非常勤講師含む)がお互いの授業を見学	20名	総合日本語プログラム非常勤講師11名を含む	
学生指導にかかるFD研修会	令和6年2月15日	「最新の国際情勢を背景に、大学は何をすべきか。」 「生成AIツールの、教育・研究・その他の大学業務への活用について」・ディスカッション	教務委員長、 FD委員ほか 5名	講師:金沢大学名誉教授 楠根重和	○

○照会事項5 令和5年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和5年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和5年度の自己評価	総評
3	国際機構は、留学生や国内学生のための質の高い教育や生活・学習サポートを提供するだけでなく、派遣・受け入れショートプログラムの運営、新しいプログラムの開発が求められている。特に令和5年度には、令和6年度から始まる新体制での教育、研究その他の業務内容について、各担当分野の教員が経験を基に活発な意見交換を重ね、FD活動を強化した。

【令和5年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和5年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和6年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

--